

1. 議事日程（第2日目）

（平成15年度安芸高田市決算審査特別委員会）

平成16年12月8日
午前10時開議
於本庁別棟1階会議室

開 会
議 題

- (1) 認定第11号 平成15年度八千代町一般会計決算
- (2) 認定第12号 平成15年度八千代町国民健康保険特別会計決算
- (3) 認定第13号 平成15年度八千代町老人保健特別会計決算
- (4) 認定第14号 平成15年度八千代町簡易水道事業特別会計決算
- (5) 認定第15号 平成15年度八千代町特定環境保全公共下水道事業
特別会計決算
- (6) 認定第16号 平成15年度八千代町農業集落排水事業特別会計決算
- (7) 認定第17号 平成15年度八千代町根野地区土地改良事業特別会計決算

散 会

2. 出席委員は次のとおりである。（20名）

委員	明 木 一 悦	委員	秋 田 雅 朝
委員	加 藤 英 伸	委員	小 野 剛 世
委員	川 角 一 郎	委員	塚 本 近
委員	赤 川 三 郎	委員	松 村 ムキミ
委員	熊 高 昌 三	委員	青 原 敏 治
委員	金 行 哲 昭	委員	杉 原 洋
委員	入 本 和 男	委員	山 本 三 郎
委員	今 村 義 照	委員	玉 川 祐 光
委員	岡 田 正 信	委員	渡 辺 義 則
委員	亀 岡 等	委員	藤 井 昌 之

3. 欠席委員は次のとおりである。（1名）

委員 田 中 常 洋

4. 安芸高田市議会委員会条例第21条の規定により出席した者の職氏名（14名）

市 長	児 玉 更 太 郎	助 長	役 増 元 正 信
収 入 役	藤 川 幸 典	参 事	小 野 豊
総 務 部 長	新 川 文 雄	福 祉 保 健 部 長	福 田 美 恵 子

監査事務局長	藤 本 宏 良	市民生活課長	佐 々 木 亮
水道課主幹	山 本 孝 治	八千代支所長	平 下 和 夫
八千代支所市民生活課長	乗 田 省 三	八千代支所業務管理課長	槇 原 秀 克
八千代支所地域振興課長	岡 田 敦 男	八千代教育分室長	中 村 保 子

5. 職務のため出席した事務局職員の職氏名（4名）

事 務 局 長	増 本 義 宣	次長兼総務係長	光 下 正 則
議事調査係長	児 玉 竹 丸	書 記	国 岡 浩 祐

~~~~~○~~~~~

午前10時00分 開会

○熊高委員長

みなさんおはようございます。

ただ今の出席委員は20名でございます。

定足数に達しておりますので、これより決算審査特別委員会2日目を開会いたします。

本日の審査日程は、お手元に配布のとおり平成15年度旧八千代町に係る決算認定7件についての審査でございます。

内容について支所長から説明を求め、要点については各関係課長から説明を求めますが、昨日委員の皆さんには確認したように、初日吉田町やりましたけども、流れの方を少し変えておりますので、その流れに沿って今日からやるということになりますので、ご了解のほどよろしくお願い申し上げます。

まず、平下八千代支所長から概要説明をお願いしたいと思いますが、まず認定第11号、平成15年度八千代町一般会計決算の認定についての件を議題といたします。平下八千代支所長。

○平下八千代支所長

おはようございます。それでは私の方から旧八千代町一般会計決算の説明をいたします。

ご承知のように16年2月末の打ち切り決算となっておりますので、数値は単純な差し引きの状態にあります。歳入総額は22億2,236万3,000円、歳出総額23億618万9,000円、歳入歳出差引額が 8,382万6,000円でございます。なお、この決算書の中でカッコ書きの部分がございまして、このカッコ書きについては平成14年度から15年度に繰り越されたもので内数となっておりますので、ご理解を賜ります。

続いて主要施策等の説明でございますが、今まで八千代の方式で提出しておりまして、非常に簡単なものになっております。大変申し訳ございません。これによって合併前の各担当課長がこれに対して少し補足をしながら簡単に説明をさせていただきますので、ご理解をお願いいたします。以上です。

藤本監査事務局長

それでは、平成15年度八千代町一般会計の内、議会費についてご説明いたします。

決算書では35ページからにあたると思います。当初予算額5,991万4,000円であります。その後250万7,000円の補正減を行い15,740万7,000円の予算現額をもって執行いたしました。支出済額は5,208万7,064円でした。不用額は全額安芸高田市3月分の予算に移しました。

主な支出といたしましては、議員報酬、職員給与、議員職員手当、いわゆる6月と12月でございますが、この期末手当がございます。以上、要点の説明を終わります。

○熊高委員長

引き続き説明を求めます。福田福祉保健部長。

○福田福祉保健部長

はい、失礼いたします。それでは旧八千代町の時代の決算でございますが、私、総務課、そして合併推進課の方を兼ねておりましたので、

その方の説明をさせていただきます。成果に関する報告書にも書いてございますように、その部分とそれに記載がない部分を総務と合併推進の方の説明をさせていただきます。

まず、36ページを開いていただきたいと思います。総務の一般管理費でございますが、この中にですね、合併推進課の関係と一緒に総務管理費の方へ予算を組んでおります。そういった感じで説明をさせていただけたらと思います。

まず、広域合併推進事業に伴います支出済がですね、主には19節、それから13節、14節の関係になるわけでございますけども、電算移行経費、それから合併協への負担金、それと合併協への高宮町への人件費として支払うものがございます、それらに伴いますものが併せまして5,693万5,000円支払をいたしております。そして残の方がかなり19節、それから13節の方でございますが、これは新市の方へ送っての支払いとなっております。

それと、一般管理費の方では、八千代町の閉庁記念事業といたしまして、2月8日フォルテの方で実施いたしました。それに係ります経費が220万円ほど、ほとんどが需用費の方で支払いをしておりますけども、220万円、それは参加人員が312名。その中の内容といたしましては旧町時代の功労表彰、感謝状等含めまして表彰、それとアトラクションをさせていただきます。

それから38ページの方の財産管理費でございますが、主要施策の成果に関する報告の方にも上げておりますけども、上根集会所の整備をいたしております。公共施設整備事業といたしまして4,252万5,000円、これはこの集会所がですね、かなりもう老朽化しておりましたけども、今後地域振興会等の拠点施設でもあります、八千代町におきましては4つの大きな拠点施設がございます。その中の1カ所でございます、これを高齢者等にやさしいバリアフリー化したことによって、また地域のふれあいの場として地域振興を推進していくための拠点施設として、今後活用していくということで整備をさせていただきます。

それから、同じく下根の集会所の舗装工事としておりますが210万円。これも同じく八千代町にあります4つの拠点の施設の一部でございます、集会所の周辺を駐車場ですね、舗装をさせていただきます。

それから、財産管理の中で39ページになろうかと思えます。工事請負費が大きな金額が1億2,176万7,000円とございますが、これは14年度からの繰越分で基幹センターの改修工事をさせていただいたものを15年度で支払いをさせていただきます関係上、大きな金額となっております。

それから41ページでございますが、総務の関係といたしましては防犯対策費といたしまして、支払額が233万8,000円あまり支払いをいたしております。これは防犯灯の維持管理費でございます、電灯料、それから修理等でございます。

それから42ページの交通安全対策費におきまして84万6,000あまり支払いをさせていただいておりますが、これもやはり交通安全啓発に伴いますもので、それと工事費の方が未だ未払いとなっておりますけども、カーブミラー等の設置を発注をいたしております。

それから大きいものといましては82ページになろうかと思えます。82ページですね、消防関係でございますけども、2目の消防施設費の関係のところでは7,820万5,000円あまりの支出をいたしております。その中の工事費でございますが、これは県の補助金を利用しました水力発電地域整備事業というのがございますが、その補助金で八千代町におきましては防災無線を設置いたしております。これの外にございます、子局整備と言いまして、本体は庁舎の中にあるんですけども、それを町内6カ所ですね、外ヘラッパを付けて防災無線を使用するようなかたちになっております。それらの順次古くなっているところから順次整備をいたしまして、15年度におきましては2カ所の整備をさせていただいております。ちなみに八千代町におきましては、無線の受信機の設置戸数がですね、現在約負担金をいただいております関係もあるんかと思えますけれども、88%の受信率でございます。

それと99ページなんですが、公債費でございますが、公債費が元利併せまして支払済が2月末までの支払済が2億2,105万7,000円あまり支払いをいたしております。不用額に記載してございますのは、新市の方になっての償還の支払いとなっております。以上でございます。

○熊高委員長 引き続き説明を求めます。

岡田地域振興課長 委員長。

○熊高委員長 岡田地域振興課長。

はい。失礼します。平成15年度の旧八千代町の企画課関連分の決算の状況について説明をさせていただきます。企画課の関係といたしましては、魅力ある、活力に満ちたまちづくりを目指すということで、合併前に取り組まなければならない事業を中心に事業を実施いたしております。

以下、事業別に概要を説明いたしますけども、主要施策の成果に関する報告に沿いまして説明をさせていただきます。まず最初にフォルテ2階の区分所有ということで総務課の所属になっておりますけども、これは費目上、財産管理の方になっておりましたので、総務課になっておりますが企画の方で所管をしております。

決算書の方のページは39ページになろうかと思えますが、区分所有に係る経費、決算額1億7,480万7,000円となっております。この事業は、ホール、研修室等を町が区分所有し、社会教育施設として整備をしたものでございます。なお、区分所有の面積といたしましては845.24平米ということで、町の占有割合が30.47%ということになっております。これに伴います財源といたしましては、一般単独事業債を1億3,150万円を充当いたしております。

それから、管理についてでございますが、新市になりまして管理ということになりますけども、指定管理ということで八千代タウン開発の方の会社の方へ委託をして実施しております。

次に広報八千代の発行ということで、決算書の方は37ページということでございますと、決算額304万3,000円ということで、これは八千代町の方では毎月発行ということで1,600部、大体12ページから14ページものということで、各戸配布をいたしております。

次に3番目といたしまして、地域づくり助成ということで、これ決算書の方のページといたしましては40ページになろうかと思いますが、これは補助金というかたちで決算額400万ということで、大字単位4つありますけども100万円ずつの交付をいたしております。この事業も合併を目前に、活力ある地域づくりを進めるといった観点から、振興会設立に向けての準備を促進するため、助成をしたものでございます。年度内と言いますか、15年度中にですね、大字単位4つの振興会の設立を見ることができました。現在、いろいろ取り組みの方を実施しておるといった状態になっております。

4番目でございますが、同名八千代交流事業ということで、決算書のページが41ページということで、主なものは実行委員会の補助金ということで、決算額が69万7,000円ということになります。この事業は、昭和61年に本町含めて4つが協定を結び、各自治体まわりながら交流を実施したということで、平成15年度は兵庫県の八千代町というところがありますけども、そこと交流しております。交流の内容は、首長等の参加によりますサミットと、一般住民の交流としてスポーツ、地元特産と言いますか、藍染め等があるわけですが、そちらの方の体験等を実施しております。本町からの参加者は20名ということで、全体で100名程度の交流を行っております。

次に、土地対策事業でございますが、これは決算書の方は42ページ、43ページ辺りになります。決算額570万7,000円ということで、この事業の主なものは法定外公共物の払い下げということで、赤線青線の払い下げ事務に要する委託料でございますが、259万1,000円。この財源は緊急雇用対策の交付金100%充当ということでございます。

それから、あと残りの主なものとしましては、道路、水路等の未登記が数多くありますけども、これを解消するために実施した経費ということでございます。なお、道路、水路等の未登記解消については、毎年少しずつ実施しておるといった状況にあります。

次に、合併記念誌発行事業でございますが、決算書の方38ページでございますが、決算額63万円ということで、どこの町もやられたと思えますけども、合併を目前にということで八千代町の記録として記念誌2,000部発行し、各戸へ配布したところでございます。

最後に男女共同参画プランの作成ということでございますが、決算書の方40ページということで、これ需用費の方へ入るわけですが、決算額

39万9,000円ということでございます。この事業は以前から懸案だった男女共同参画社会実現のプラン作成を推進したということで、作成にあたりましては各団体等、選出いただいた意味を持って策定委員会を組織して、平成15年の3月に一応プランの方は完成ということで、平成15年度において計画書の方250部を印刷したといった経費でございます。共同参画社会に向けての第一歩を踏み出せたのかなと思っております。

以上で、旧八千代町の企画課分のですね、報告を終わります。以上でございます。

○熊高委員長 引き続き説明を求めます。

佐々木市民生活課 委員長。

○熊高委員長 佐々木市民生活課長。

佐々木市民生活課 はい、失礼いたします。八千代町時代、住民課を担当しておりました佐々木でございます。住民課の業務といたしましては、税務係、戸籍住民係、国民年金係、人権推進係、火葬場の管理運営というものでなっております。主要施策の方につきましては、主要施策というかたちでは出ておりません。よりまして、要約して決算書に基づいて要約して説明させていただきます。なるべく何ページ、何ページとは少なく言わせていただきます。飛び飛びとなるかもわかりませんが、初めてのことで要領を得ないかもしれませんが、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

まず、15年度の税務係の成果のことにつきましてでございますが、決算書におきましては10ページから始まるものでございます。要約して説明させていただきます。平成15年度の町税収入を税目別で見るとその表のとおりでございます。10ページ、11ページとわたっております。率的には総額で収入済額が4億3,043万7,046円でございます。その内、占める割合で町民税が31.1%、収入済額1億3,420万8,756円でございます。その内、個人町民税で21.1%、9,089万3,556円、法人町民税が10%の4,271万4,700円になります。固定資産税は固定資産税と国有資産等所在地交付金というものがございまして、固定資産税につきましては60.2%、両税をたして60.2%、2億4,393万9,800円の内訳になります。この両税、町民税、固定資産税で91.3%を占めております。残りの8.7%におきまして、軽自動車税、町たばこ税を踏まえております。

それから、その歳出につきましては、賦課徴収、それから滞納というかたちで使わせてしております。また、職員の人件費3名のものが主たるものでございます。

それからですね、ながれ的にいきますと17ページにお願ひしたいと思います。これにつきましては衛生使用料、11款使用料及び手数料、1項使用料、2目の衛生使用料があります。これは火葬場及び霊柩車使用料でございます。蓬莱苑につきましては八千代町、それから吉田町を担当しております。八千代町から調定額、収入済額とも540万5,000の内訳は、八千代町が122万1,000円、吉田町につきましては418万4,000円という手

数料でございます。先ほど言いましたように、火葬場につきましてはこの使用料と八千代町、吉田町の現年過年度分の残る手数料を負担金というかたちで2町で率割合、人口率割合等で補填しております。大きな歳出につきましては火葬業務2名、霊柩車運転業務2名の委託料が主なもので歳出でございます。

続きましてですね、18ページに2項の手数料の内、総務手数料がございますが、これは総務手数料、各種証明手数料でございます。八千代町の2月末の人口でございますが、男性2,000名、女性が2,120名、計4,120名、世帯数といたしまして1,510戸が2月末の人口でございます。その住民票、それから国民年金等の事務を行っておるものでございます。

それから32ページにおきまして、3項貸付金元利収入、1目の貸付金元利収入でございますが、住宅新築資金等貸付元利収入でございます、八千代町におきましては3資金の内総計53件でございます。調定額782万9,242円、収入済額529万1,346円、未収入額が253万7,896円でございます。この所管しております業務でございますが、人権施策としてその徴収とそれから人権施策の推進というかたちで八千代人権福祉センターというのを2年前に着工し、その着工完成しまして、その管理運営等、人権施策の啓発というかたちで進めて参っております。昨年度の3月から今年2月末までの合併までの人権センターの来訪者につきましては、累計で4,380名ということになっております。

以上で、住民課が所管します八千代町の報告を終わらせていただきます。

○熊高委員長 引き続き説明を求めます。

榎原業務管理課長 委員長。

○熊高委員長 榎原業務管理課長。

榎原業務管理課長 はい。それでは旧八千代町福祉保健課に関係するわけでございますけども、主要施策の成果に基づきましてご説明をさせていただきます。

決算書の方は51ページ以降でございます。主に福祉保健課は福祉と保健衛生、大別をしますと福祉と保健衛生を担当させていただいております。

まず、主要施策に基づきましてですね、福祉医療でございますけれども、対象者が乳児が98名、重度が88名、ひとり親が62名、老人が18名でございました。

続きまして、老人福祉費でございますけども、この内容につきましては一応在宅介護支援センターの事業の中で、新たに15年度取り組んだ事業は2つほどございます。その1つは痴呆相談、今は認知症と言っておりますけども、痴呆相談、それと介護予防プランを実施させていただいております。これは高齢者の自立のための支援活動を進めて参っております。

それともう1点、転倒予防教室を実施をさせていただいております。これは年22回ほど実施をさせていただきました。表情に変化が見られる



など、僅かずつ成果が現れて、引き続き対象者の把握に努める必要があるのではなからうかと思っております。参考までに平成15年2月末で65歳の方がですね、1,126名。パーセンテージでいいますと約26.7%、こういった状況でございます。

3の生涯福祉費でございますけども、これは補装具と書いてございますけども、補装具の給付が9件、進行性の方が1件、在宅福祉は0人で行いました。

続きまして児童手当でございますが、対象児童数が135名、前年対比と比べますと約11名減となっております。受給者数は102人で行いました。

次に児童館費でございますけども、八千代町には公設公営の児童館が2カ所ございます。これは遊びを通して児童の健全育成を目的に、地域の方々との交流なり児童館だよりの発行業務をしているところでございます。刈田と根野と、それぞれ児童館がございますけども、15年度におきましては登録者数がですね、刈田は66名、内1年から3年生までの児童たちが33名で行いました。根野地区は登録者数が73名、内1年から3年生が35名といった状況でございます。

4の予防費でございますけども、これは実績を申しますとBCGが23名行いました。ポリオ、これ年に2回接種でございますが延べ人数48名、インフルエンザが65歳以上でございますが608名で行いました。4の保健衛生の関係でございますが、これは各歯科保健セミナーとかですね、母子保健事業、それと健康診査、健康診査は総合検診、1日ドック等が行いましたけども、総合検診の受検者数が429名、1日ドックが6名といった状況で行いました。

最後になりますけども、環境衛生費、これはリサイクルステーションの設置ということで15年度にアルミ缶とスチール缶のリサイクルセンターを設置させていただいております。それと旧6町の中で一番遅かったわけでございますが、許可制から委託制ということで、9月からし尿の収集業務を実施させていただきました。以上でございます。

○熊高委員長 引き続き説明を求めます。

山本水道課主幹 委員長。

○熊高委員長 山本水道課主幹。

山本水道課主幹 それでは環境整備課で担当しておりました小型合併浄化槽設置整備事業費について説明いたします。

15年度におきましては、5人槽の申請が2基、7人槽の申請が2基、計4基の設置事業を行いました。以上でございます。

○熊高委員長 引き続き説明を求めます。

平下八千代支所長 委員長。

○熊高委員長 平下八千代支所長。

平下八千代支所長 はい、それでは旧八千代町時代の農村整備課を統括しておりましたので、その内容についてご説明申し上げます。

農村整備課は農業委員会、それから農業経済、農業土木、この3本柱を担当しておりました。決算書でいきますと63ページあたりになりますけども、私の説明は事業で括ったような説明をいたしますので、よろしくお願いたします。

施策の報告の中の2ページにありますけども、5款の1項が農村整備課の担当になります。農業振興事業としまして実施しましたのが、これはどこの町も非常に困っておる課題でございますが有害獣対策、これに対して431万9,000円の執行をしております。その中には駆除の委託、それから捕獲檻の管理、それから防護策の設置をしたことによる補助といったものを実施しております。

防護策につきましては、既に10年以前からやっております、2戸以上で材料費の50%を補助するというもので、上限は設けないといった施策をやっております、15年度にはかなりもう浸透いたしまして1件で8万5,000円程度の設置がございました。

それから中山間地域直接支払事業でございますが、これは20分の1の勾配地域の国庫補助でございますが、八千代町の場合対象面積が10万2,145平方メートル、補助金で214万5,000円、これは5地区が対象となっております。

それから続きまして土地改良事業のこれは現年分でございますが、八千代町には土師ダムの園庭から直接引っ張ったパイプラインがございませう。この簸の川灌配施設とっておりますけども、これの管理費が684万4,000円で、ちなみに送水量が年間と言いましても5月から9月でございますが、131万トンの水を送っております。そして八千代町に14万トンの池が、大和池というのがあるんですが、これを今県営でもって改良しております。堤体それから斜樋、その辺りを今改良しております。これも16年度で完了するわけですが、その負担金が336万円ございます。

そして土地改良区の償還助成ということで1,902万4,000円の執行をしております。

それから土地改良事業の繰り越しでありますけども、これは先ほど言いました大和池の負担金、これが441万円の執行をしております。

それから小規模生産整備でございますが、これにつきましては単県の事業として取り組んでおります。農道改良が1路線、舗装改良が1路線、水路に関するものが、これも単県でございますが水路の改良が2路線、それから単町の維持管理が入っております。

それと小規模零細地域営農確立促進対策事業でございますが、これにつきましては八千代町の設置をしております八千代ふるさと農園。これは生産法人ですが、組合法人ですが、その中で農作業の基幹的なものを請負うと。受託業務がございますのでそれに単町でもってトラクターとコンバインを購入しております。

それから農村総合整備事業でございますが、これは国庫補助を受けて平成15年度の単年度の補助対象事業費は9,090万といったもので、主要

道の舗装が1路線、これ約1,123万5,000円ですが、それと農道の改良が次にあります繰越と同じ路線でございますが、これが15年度のものが3,045万。それから河川改良が1路線あります。これが15年度では3,139万5,000円、これにつきましては16年度に繰り越しをいたしております。これは3月の議会で議決をいただいております。

そして繰越でございますが、3,500万は先ほど言いました農道の前年からの繰越で、これは15年度で完了いたしております。

それから10款でございますが、98ページになりますが、災害復旧事業、これの内訳といたしまして、施設の小災害が2件ございます。これは補助の対象にならない災害が2件で、施設の補助災害が1件ございます。これは簸の川にあります頭首工が災害を受けまして1,050万、そして農地小災害が3件、単町の災害復旧が3件、それから補助災害が、補助の農地災害が2件ございました。以上です。

○熊高委員長 引き続き説明を求めます。

乗田市民生活課長 委員長。

○熊高委員長 乗田市民生活課長。

乗田市民生活課長

平成15年度におきます八千代町の建設課では、農林水産業費の林業部分と土木費を担当しておりました。15年度の予算にあたっての基本方針は、合併ということもございまして15年中2月、年内にはすべて事業、これは工事でございますけれども、終わると。そのためには駆け込み事業、それから事業量も抑える。また支払いはですね、2月中にはできるだけ済ますと、こういう方針で事業実施してきました。決算書の不用額を見ていただければお分かりのように、一部新市に持ち込んだ支払いはございますけれども、ほとんど2月末で済ませております。

それから事業概要につきましては主要施策に関する報告で説明させていただきます。決算書では74ページ以降でございます。

まず、流域森総でございますけれども、これは木材価格の低迷、従事者の減少、高齢化等、特に八千代町においてはですね、猟友会の協力によりまして成果は上がっているものの、未だシカによる被害が多く発生しております。それから林業生産活動が低下し、厳しくなっているという状況でございます。こうした中、昭和50年代初頭の人口林が近い将来主伐の対象となってきます。これは全国的にもですね、急激に増大するんじゃないかと思えます。このようなことからですね、新植をも計画しながら優良材に向けての枝打ち、間伐等、長伐期に向けた保育に重点を置いた事業を進めております。なお、この事業はですね、平成16年より森林組合の方が事業主体となっております。

次に内山大又線の林道法面の改良と舗装でございますけれども、この林道というのは施業、林産物の搬出道としては無論のことでございますけれども、白木町へのアクセス道としての位置付けも持たせまして、全長約3キロございますけれども、八千代町のその内、1.8キロ、全線は15年度をもって完了しております。なお、広島市分は1.2キロございます

ども、これは既に完了しております。

次の小規模崩壊事業につきましては、この事業は大変要望の多い事業でございます。15年度におきましては八千代町では1ヵ所の地産事業ということで、民家の被災防止の保全工事を行っております。

次の勝田根の谷線でございますけれども、これ全長約7キロでございます。まずはですね、勝田から佐々井までの2.4キロを改良計画といたしまして、平成10年より実施しております。現在までに約900メートルの2車線プラス歩道でございますけれども、これを完了しております。15年度におきましては主なものは用地買収1,500平米、それから建物1棟、それから一部の側溝等のような壁の工事を行っております。この路線もですね、できるだけ早い時期に完了したい路線でございます。

次に平原線でございます。これは旧2メートル弱というような狭い道でございましたけれども、水道の老朽管の布設換えと併せまして120メートル、幅員4メートルのですね、生活道の整備というものをですね、図っております。

次に佐々井黒瀬線でございます。これは平成11年に地元の方から要望がございました。この要望に基づきまして事前に地権者の方にご協力いただけるかどうかということ話をさせてもらったところ、概ね理解が得られたということで、5年経過しましたけれども15年度で490メートルの地形保線検討の業務委託を行っております。建設課は以上でございます。

○熊高委員長  
中村教育分室長

引き続き説明を求めます。中村教育分室長。

はい。それでは平成15年度の八千代教育委員会関係の説明をさせていただきます。

決算書につきましては、ページ84ページから97ページにかかっております。それでは主要施策の成果に関する報告に基づき説明させていただきます。平成15年度八千代町教育委員会では、教育総務係、生涯学習系の2係体制で業務を行って参りました。

まず初めに学校教育関係を説明させていただきます。施設といたしましては小学校2校、中学校1校、学校給食センター1ヵ所があり、学校教育に関する決算額は6,705万9,000円となっております。

学校規模は小学校は2校とも各学年1クラス、また中学校では3年生のみが2クラスという状況で、3校ともに教育目標を掲げ校長を中心に学校運営を行って参りました。地域の子どもたちを教育する学校として、地域の人々の協力と支援は不可欠と、平成15年度より学校だよりを地域全戸配布するなど、開かれた学校づくりに取り組んで参っております。その成果が少しずつではありますが、学校行事等にですね、地域住民の姿が見えるようになっております。また、根野小学校、八千代中学校におきましては、平成15、16年度にわたり、文部科学省の研究指定校になりまして、研究及び公開授業を行って参っております。

学校給食におきましては、センター方式で1日330食をつくりまして、

3校に配食、米飯の完全給食を実施しております。

ハード面におきましては小学校2校のパソコン教室に空調施設の整備、また中学校では町民より八千代中学校の教育に関する旨の教育に使用する旨の条件を付した特定寄付金1,000万円をいただきました。寄付者の思いを大切に受け止めさせていただき、生徒の基礎学力向上に欠かすことのできない図書室の改修及び備品の整備に活用させていただきました。ただ、残念なことに56年間にわたり地域に密着し1,204名の卒業生を送り出しました吉田高校八千代分校が、平成16年3月31日をもって閉校となりました。八千代分校も近年地元出身の指定はほとんど通学していない状況ではありましたが、56年の歴史は重く、八千代町民にとっても惜別の思いはひとしおの思いがありました。

次に生涯学習関係でございますが、主な施設といたしまして図書室、B & G八千代海洋センター等の体育施設及び芸術農園四季の里の八千代の丘美術館等を要し、管理運営をいたしました。費用といたしましては、決算額が6,963万4,000円となっております。

社会教育におきましては、高齢者大学の開催、公民館文化教室の活動支援、公民館図書室の運営、人権教育推進のための事業、文化財の保護、八千代の丘美術館を中心とした文化芸術の振興を行ってきました。

八千代町では従来成人式を1月に行っておりましたので、八千代町としての最後の成人式を16年1月11日、新成人34名を迎え挙行することができました。

また、人権センター内に設置しております図書室は蔵書が9,500冊、年間来館者数2,700名、貸し出し冊数6,100と、小規模ではございますが県立及び近隣市町村の図書館との総合貸し出し制度を利用し、利用者のリクエストに応えるため努力しております。

芸術農園四季の里、八千代の丘美術館は、平成15年4月アトリエ15棟に新しく第2期入館作家を迎えました。第2期入館作家については旧高田郡吉田町出身の佐々木辰也先生、八千代町出身の槇原慶喜先生が入館されております。

また、初代館長として元広島県立美術館、阿川静明さんをお迎えし、美術館としての体制を整えることができました。課題でありました警備システムにつきましては機械警備システム工事を行い、警備システムの構築を図らせていただきました。

最後に保健体育関係でございますが、B & G海洋センター等各種体育施設等を解放し、市民のスポーツへの取り組みに対し支援を行うとともに、スポーツフェスティバル、水中ウォーキング教室、ラージボール卓球、子どものためのバレー教室など、各種教室を開催しております。カヌーにおきましては、カヌークラブの子どもたちが年間を通し練習に励み、全国大会で上位入賞を果たし、活躍しております。ただ、残念なことに水上競技ということですから部員の増に結びつかず、悩んでおるところでございます。以上、教育関係の説明を終わらせていただきます。

○熊高委員長 以上で説明を終わります。  
これより質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

入本委員 委員長。

○熊高委員長 入本委員。

入本委員

何点か成果について伺いたいんですが、先に総務の方の上根の集会所のバリアフリーがあったんですが、これは4,252万ですよ、大体新築するぐらいの経費で改修されたというのは、非常に将来展望された工事だと思うんですが、これは定期的に利用率と何戸ぐらいの世帯数の集会所か、お聞きしたいのと、次の企画課がやっておられます、私もこういうのは好きなんですが、八千代町の交流のサミット、これが61年からいくと、もうかなり長く続いておられるのですが、この4町とは何県の4町か。それとこの成果がですね、旧高田郡の八千代町ではまちに根付いた交流した成果はどういうものがあるのか、大体これだけ長く続くと、ダルのが普通なんですが、ダツてないということは非常にまちとして成果が出ていると思うんですが、そこらをちょっとお聞きしたいのと、それから次の福祉保健課の環境衛生のところで、リサイクルステーションの設置というのはこれも非常に興味のあるところですが、空き缶とスチール缶の設置をされとるといことなんですが、これの運営方法と規模はどのぐらいのものか。どの程度の運用をしておられるのか、それをお聞きいたします。それともう1点、最後に出ました社会教育総務の八千代美術館の警備のことと関連するんですが、予算書の95ページに、私、四季の里というのはまだ残念ながら伺ってないんですが、チラシ等ではよく宣伝されとるんですが、その運営というのは委託かとおったら、こちらが執行されとるようなんですが、これの実質的な運営をもう少し方法ですか、どのような状態かを、この予算書に基づいたような報償、共済費、賃金などを説明いただければありがたいなと思っております。以上です。

○熊高委員長 答弁を求めます。福田福祉保健部長。

○福田福祉保健部長 はい、まことにすいません。今の上根集会所の改修費用の件で、利用者数、それからこれは八千代町向山地域、上根地域になるわけですがけれども、ちょっと資料が手元にございませんで、すぐ取り寄せますのでよろしく申し上げます。

○熊高委員長 岡田地域振興課長。

岡田地域振興課長

はい、お尋ねの同名交流事業に関することですが、まず4つの市町村ということで、どこかというお尋ねですが、当広島県の八千代町、千葉県に八千代市というのがありますが、そちらの方と兵庫県、これも八千代町でございます。それから茨城県、これは八千代まちと言うそうですが、この4市町でございます。

それから、成果ということでございますが、なかなか成果を図るという部分は難しいんですが、最近よくありますように、民意主導の交流と

いうかたちで最近ずっと取っておりまして、民間がスポーツであるとか、地元の地場産業であるとか、そういった交流を行政がし向けるといったかたちで進め、女性会等とか他の団体、個人的な交流を深められておるといった状況も見受けられると思います。

それから、行政側といたしましては、災害等の応援協定も結んでおります。ただ、今後の方向でございますが、一応同名市町というかたちになっておりますので、今年、茨城県の方で開催されたわけですが、一応これで終止符を打とうということで、今年度、来年度あたりで協定の方を解除というかたちにはなったところで、合併の協定事項に入っておりますので、そういったかたちで進めております。以上でございます。

榎原業務管理課長  
○熊高委員長  
榎原業務管理課長

委員長。

榎原業務管理課長。

はい。リサイクルステーションの運営と規模についてご質問がございました。リサイクルステーションは先ほど言いましたようにスチールとアルミ缶の収集を行っております。運営の方法でございますけども、公衆衛生推進協議会がでございます。その理事及び役員に、今ですね、月第2、第4日曜日にボランティアで出ていただきまして、当然広報もさせていただいております。月2回の収集日を特定しまして、その缶の収集に努めております。その缶の行く末と言いますか、一様処理業者と協定をいたしまして、ポイント制、それを福祉基金に還元しようじゃないかという目的で設置をさせていただいております。場所は八千代支所の市有地の一角で、規模はですね、2間3間のプレハブでございます。以上でございます。

○熊高委員長  
中村教育分室長

引き続き答弁を許します。中村教育分室長。

委員長。ご質問のありました芸術農園四季の里のご質問についてご説明させていただきます。芸術農園四季の里では農園部分と芸術部分のですね、2つの部分が合体して芸術農園四季の里というかたちでですね、運営しております。農園部分につきましては、支所長さん関係で説明していただけますかね。

美術館関係につきましてはご質問ということで、それでは八千代の丘美術館関係のことについてはですね、ページ95ページで決算の報告をさせていただいております。芸術農園四季の里につきましてはですね、八千代の丘美術館というかたちでですね、総合センターとですね、15棟のギャラリー、アトリエですね、そこで1つの美術館として構成されております。よくほとんどの美術館がですね、1つの建物を美術館とし、それを1つの部屋で見せるという方式が多い中でですね、八千代の美術館はおいでいただいた方につきましては、よく知っていただいていると思うんですけど、15棟のギャラリー棟がそれぞれ別棟になっております。英語の字でUという字をですね、書いたようなかたちで少し楕円形のかたちをした中に15棟を建てております。先ほど説明しましたとおりですね、15棟、それぞれの建物の中に広島県で活躍されてる芸術家の方に入館い

ただいですね...

○増本議会議務局長 運営の方法、金額の方で説明して下さいということなんですが、  
中村教育分室長 大変失礼いたしました。八千代の丘美術館はですね、八千代町直営で  
やっております。委託してはおりません。直営運営でございます。主な  
ものとしたしましてはですね、報酬関係におきましては、先ほど説明し  
ました館長報酬と作家選定に伴います委員報酬が入っております。それ  
から賃金につきましてはですね、受付事務等、15年度におきましては職  
員が常時そこに常勤しておりませんでしたので、受付事務等の職員を雇  
用しております。それから需用費等につきましては、15棟の施設の運営  
費、光熱費等がかかっております。それから委託料等につきましてはで  
すね、先ほど言いました機械警備費の状況、それから企画展、総合セン  
ターにおきまして定期的開催しております企画展の経費、それから15  
棟の作家をですね、作家が一度展示されましたら年間ずっと同じものが  
展示されてるという状況を回避するため、年3回程度の展示作品の交換  
等を行っております。それに伴います経費等でございます。工事費につ  
きましては先ほど説明しましたとおり、警備システムに関する工事費で  
ございます。備品につきましては看板、それから倉庫等の補充を行いました。  
以上でございます。

○熊高委員長 入本委員、答弁について再質問はありますか。  
入本委員 委員長。

○熊高委員長 入本委員。  
入本委員 四季の里の金額で歳入がちょっと載っておりますか。歳入はどこへ  
載っておりますか。

○熊高委員長 答弁を許します。中村教育分室長。  
中村教育分室長 歳入につきましては、使用料のですね、商工使用料の方へ歳入をして  
おります。ページ17ページのですね、観光ということで商工使用料  
3,372万9,350円の内、117万8,000円が四季の里の関係の入場料でござい  
ます。

○熊高委員長 ここで、暫時休憩といたします。20分まで。

~~~~~○~~~~~

午前11時05分 休憩

午前11時20分 再開

~~~~~○~~~~~

○熊高委員長 それでは、休憩を閉じて会議を再開いたします。

答弁を許します。福田福祉保健部長。

福田福祉保健部長 大変失礼いたしました。

上根老人集会所の改修につきましてのご質疑でございますが、対象戸  
数といたしまして上根向山の地域にございます集会所でございますので、  
戸数としては362戸で、人口といたしまして900名ぐらいですね、それと、  
この建物はですね、当初昭和50年3月にオープンというか、使用開始にな  
りまして、かなりの年を経っております、今回整備をさせていただき



ました。それで、内容的には少子高齢化対策、それからバリアフリー化改修事業ということで、身障者用のトイレ、今までは普通のトイレでございまして、身障者用トイレの新設、それとそのトイレも今まで共用であったわけですが、それを男女別に分けての設置、それから自動ドア、スロープですね、それとか手摺りを設置いたしました。それと玄関の方を元々ロビーでしたのを、それをひとつのフラット化をいたしまして、段差のないかたちでのホールというかたちでやっております。それと今まで冷暖房につきまして、暖房がガスでやっておりましたけども、現代のかたちでの利便性を考慮したエアコンの空調整備をさせていただいております。これが1階と2階がございまして、面積的には325.21平米でございます。そうした中での改修事業でございます。

○熊高委員長 他に質疑はありませんか。

今村委員 委員長。

○熊高委員長 今村委員。

今村委員

2点ほどお伺いします。振興会の準備費用ということで400万組まれておるわけですが、その振興会の事業関係と組織化の進捗状況はどのような状況にあるのかというのが1点です。

それから2点目は公有財産の関係でございますが、大きく2件あるかと思うんですけど、その中身についてお知らせを願います。

岡田地域振興課長 委員長。

○熊高委員長 岡田地域振興課長。

岡田地域振興課長

はい。振興会の方の400万円の助成でございますが、先ほど申しましたように、各振興会100万円ということで、活動的な補助という部分について80万円、それから組織化へ向けての事務費等々、会議ですよ、これを20万円というかたちで交付しております。その20万円の方は県の新しい住民組織活動支援事業という部分についてですね、補助をいただいております。これは2分の1でございますが、補助をいただいております。

進捗状況といいますか、これは設立というふうに捉えてよろしいでしょうか。4振興会の設立がですね、いろいろ各地域で総会の方を持たれたわけですが、平成15年の8月が最後の振興会の設立ということで、4振興会の方を設立いたしております。

それから4つの振興会の全体連絡協議会という部分ですが、旧八千代町単位という部分で設立がですね、これは平成16年の5月に設立をみております。以上でございます。

○熊高委員長 引き続き答弁を許します。

岡田地域振興課長

はい。39ページの17節の公有財産購入費の内訳という部分で、質問の内容だと思いますけども、八千代町の入口にありますフォルテの方の区分所有ということで、1億7,480万7,000円を使用いたしております。それから備品、机等の備品を一部八千代タウン開発の方から購入しております。これが109万8,000円ということで、ここの公有財産の購入費の

内訳でございます。

○熊高委員長 今村委員、よろしいですか。

今村委員 委員長。

○熊高委員長 今村委員。

今村委員 サイクリング用地の約500平米ありますね、あれはどのような関係なんですか。具体的にはどういったような用地の中身なのかということです。

○熊高委員長 今村委員、再度質問をもう少し詳しくお願いします。

今村委員 172ページのですね、公有財産の移動というか、増加があるわけです。具体的にはサイクリング用地で499.8平米ですか、増えておりますが、これはどういったような中身なんかということです。

○熊高委員長 答弁を許します。

岡田地域振興課長 ちょっと、このいきさつから話をさせていただきますと、これはですね、八千代町公社が財団法人2カ所ありました。中国自転車振興センターという部分と八千代町開発公社という部分がありました。それで、合併協議の中でサイクリングセンターの方で解散して公社の方へ統合せよという部分がありました。それでサイクリングの方の施設、自転車の格納庫、それから自転車の休憩施設2カ所、そちらの方を町が購入をして財産を整理したというかたちでそちらの方が増加をしたということでございます。以上です。

○熊高委員長 今村委員、よろしいですか。

今村委員 はい。

○熊高委員長 他に質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

○熊高委員長 続いて、認定第12号、平成15年度八千代町国民健康保険特別会計決算の認定についてを議題といたします。

関係課長から要点の説明を求めます。

佐々木市民生活課 委員長。

○熊高委員長 佐々木市民生活課長。

佐々木市民生活課長 失礼いたします。国民健康保険特別会計の歳入歳出決算につきましては、決算書の102ページをお願いいたします。

歳入の内、住民課が所管をいたします国民健康保険税部分がございますので、私の方で歳入歳出一括で説明させていただき、給付につきましては榎原課長の方から説明を行います。

102ページの実質収支に関する調書でございますが、歳入総額3億9,569万5,000円、歳出総額3億9,951万2,000円、歳入歳出差引額マイナスの381万7,000円でございます。その歳入の内訳の内、国民健康保険税につきましては103ページに載っております調定額1億4,488万6,169円の内、収入済額が1億777万5,744円、収入未済が3,711万425円、以下国庫

支出金から10款の県支出金までにつきまして、収入済額が先ほど言いましたように3億9,569万5,040円でございます。

榎原業務管理課長  
○熊高委員長  
榎原業務管理課長

委員長。

榎原業務管理課長。

それでは国保特別会計の給付の説明をさせていただきます。15年2月末現在で、国保の加入状況でございますが、世帯数で言いますと1,371世帯に対して909世帯ございました。率に直しますと約66%、これも年々増加傾向にあります。その内容でございますけども、一般が670人、退職が363人、老人が630人、計人数でいたしまして1,663名でございました。

それでは、歳出の方の説明をさせていただきますけども、118ページをお願いいたします。めくって119ページ以降になろうと思っておりますけども、歳出で主なものはですね、保険給付、これが決算額が2億1,372万9,000円、歳出の構成比率からいいますと53.5%でございました。もう一つ、老人保健の拠出金が1億378万6,000円、これが構成比で言いますと26%でございます。

それと、保健事業も国保特別会計で実施をさせていただいております。ひとり一人が健やかで心豊かに生活できる健康の増進と、疾病の予防を実施をさせていただきました。事業の内容でございますけども、健康づくり、これは月1回、さわやか教室ということで実施をさせていただいております。健康サロンの実施、これは寝たきり予防、あと、口腔の健康について推進をいたして参りました。3点目に復旧の啓発講演会並びに講習会の実施をさせていただきました。以上でございます。

○熊高委員長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

○熊高委員長

続いて、認定第13号、平成15年度八千代町老人保健特別会計決算の認定についてを議題といたします。

関係課長から要点の説明を求めます。

榎原業務管理課長  
○熊高委員長  
榎原業務管理課長

委員長。

榎原業務管理課長。

それでは、老人保健特別会計の決算についての説明をさせていただきます。決算書の126ページをお願いいたします。

歳入総額が4億9,406万8,000円、歳出総額が4億6,800万4,000円ございました。差引額が2,606万4,000円ございました。この老人保健の内容でございますけども、皆さんご存知のように平成12年度介護保険の導入によりまして、1人あたりの医療費は減少いたしました。これはどこの旧町も同じだろうと思っておりますけども、その後上昇の一途を辿っております。14年度でございますけども、14年度の総医療費が当八千代町にお

きましては6億292万8,000円でございます。その時の対象者数が829人でございまして、1人あたりの医療費が72万9,296円といった実績が残っておるわけでございます。

15年度におきましてもですね、一応レセプトの点検の強化といったことを実施させていただいております。これは国保連との共同の点検作業を実施をさせていただきました。これも月2回ペースで実施し、医療の適正化に努めたところでございます。

もう1点、保健指導の推進ということで、主に保健師、栄養士による保健事業の推進及び家庭訪問の指導等々を実施をさせていただきました。以上でございます。

○熊高委員長 これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

○熊高委員長 続いて、認定14号、平成15年度八千代町簡易水道事業特別会計決算の認定についてから、認定第16号、15年度八千代町農業集落排水事業特別会計決算の認定についてまでの3件を、一括して議題といたします。

関係課長から要点の説明を求めます。山本水道課主幹。

山本水道課主幹 それではですね、まず最初に簡易水道事業特別会計の方から説明させていただきます。

ページ134ページでございますが、歳入総額が2億625万8,000円、歳出総額が1億7,783万1,000円、実質収支額としまして2,842万7,000円でございます。八千代の簡易水道の現在2月末の普及率としましては90%強という数字がでております。そして、水道事業の主なものとしましては、主要施策に沿いまして3点ほど掲げておりますので若干説明させていただきますと、中央監視装置の工事でございますが、現在、安芸高田市の旧町における水道は全町ともテレメーターシステムになっております。八千代では昭和47年に給水開始をいたしまして、昭和50年の半ばにテレメーター装置を導入いたしました。これにより浄水場、あるいはポンプ場等をつないでですね、ポンプの運転切り替え、流量、水位等の各々のデータを中央で監視できるようにしてあります。これを中央監視装置と言いますが、この工事に対しましてですね、1億1,907万円でございます。

続きまして、水道管布設工事は老朽管の更新としまして延長130メートル、口径150の水道管を布設替えいたしております。そして、送水ポンプの修理でございますが、ポンプの耐用年数が過ぎて修理を重ねてきたわけでございますが、主なものとしましては佐々井浄水場における送水ポンプ2台の取り替え、または電気系統の修繕ということで708万8,000円上げております。

続きまして、ページ145ページでございますが、特定環境保全公共下

水道事業でございます。145ページ特定環境保全公共下水道事業についてご説明させていただきますと、歳入総額が2億2,457万5,000円、歳出総額2億4,666万7,000円でございます。実質収支額としましては2,209万2,000円のマイナスでございます。まだこれは事業にかかったばかりで、工事費等が主なものでございますが、主なものとしたしましては管渠工事を3工区に分けて15年度はやっております。総延長としまして1,533.9メートル、口径はパイが400から150、ほぼ開削工事でやっておりますが、25.3メートルというのは県道の横断溝としまして推進工法が入っております。以上が下水でございます。

続きまして、154ページでございますが、農業集落排水事業特別会計でございます。歳入総額といたしまして2,065万7,000円、歳出総額としまして1,337万6,000円、収支額といたしまして728万1,000円でございます。この農集はですね、14年度に完成いたしました15年で約2年でございます。実質の地域の対象者数としましては45戸、加入者は32件、加入率、普及率といえますのは71%強となっております。以上でございます。

○熊高委員長 以上で説明を終わります。  
これより質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

岡田委員 委員長。

○熊高委員長 岡田委員。

岡田委員 最初の141ページの歳入の方で、雑入であるんですが、これはおそらく雷が落ちたか、損害保険のあれか、還付金かと思いますが、雑入の内訳をご説明願います。

○熊高委員長 答弁を求めます。

山本水道課主幹 委員長。

○熊高委員長 山本主幹。

山本水道課主幹 それではですね、先ほどの質問でございますが、この雑入といえますのは先ほど説明いたしましたテレメーターに落雷、被雷したわけです。その修繕に対する保険料でございます。以上でございます。

○熊高委員長 岡田委員、よろしいですか。

岡田委員 はい。

○熊高委員長 他に質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

○熊高委員長 続いて、認定第17号、平成15年度八千代町根野地区土地改良事業特別会計決算の認定についてを議題といたします。

関係課長から要点の説明を求めます。山本水道課主幹。平下八千代支所長。

平下八千代支所長 はい。それでは162ページをお願いいたします。八千代町根野地区土地改良事業特別会計決算の説明をいたします。この特別会計は、平成14

年度に開設をいたしまして、平成15年度で閉じております。

歳入総額は1億7,999万5,000円、歳出総額は1億3,228万9,000円、歳入歳出差引額が4,770万6,000円となっております。この事業は皆様ご承知と申しますけれども、旧八千代町農協からの委託を受けまして平成14年度土地改良法の認定を受けて施行しております。歳入はJ A中央会からの全額の委託金でもって行っております。施行面積は17.9ヘクタール、そして、15年度の主な内容でございますが、換地確測、それから一部残工事、農協出向職員の給与等々がこの中に含まれております。そして、先ほど15年度で閉鎖をすると説明しましたが、現在では換地処分の登記の完了もしまして、権利書を権利者に返還いたしております。

最終的にこの特会の歳入歳出は、一部3月に、新市に持ち込まれておりますけれども、最終的な決算につきましては歳入が6億7,600万、これが先ほど言いました中央会からの委託金になっております。

歳出が6億7,183万6,462円、支出しております。この歳入歳出差引額が416万3,538円でございますが、これについては既に高田郡農協に返還をいたしております。以上でございます。

○熊高委員長 支所長、今日、追加の資料が出ておりますが。欠落しておったということで。

平下八千代支所長 大変失礼しました。これをチェックしておりましたときに、事項別明細の中で歳入歳出がございまして、歳出の方の1ページが脱落しておりました。これを追加で差し込んでいただきたいというふうにお願いします。

○熊高委員長 分かりました。これで説明を終わります。

これから質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

○熊高委員長 以上をもって、平成15年度旧八千代町に係る一般会計並びに各特別会計決算の認定についての質疑を終結いたしました。

暫時休憩します。

~~~~~○~~~~~

午前11時47分 休憩

午前11時48分 再開

~~~~~○~~~~~

○熊高委員長 休憩を閉じて会議を再開いたします。

これより一括討論に入ります。

まず、本認定議案7件に対する反対討論の発言を許します。

〔反対討論なし〕

反対討論なしと認めます。

次に、本認定議案7件に対する賛成討論の発言を許します。

〔賛成討論なし〕

賛成討論なしと認めます。

これをもって討論を終結いたします。

○熊高委員長　ここで、本認定議案7件について、意見を付すべき事項があれば、ご意見をお願いします。

〔意見なし〕

特にないようですので、付すべき意見なしと認めます。

○熊高委員長　これより認定第11号を起立により採決いたします。  
本案は、原案のとおり認定することに賛成する諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

起立多数です。よって、認定第11号は原案のとおり認定すべきものと決しました。

○熊高委員長　これより認定第12号を起立により採決いたします。  
本案は、原案のとおり認定することに賛成する諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

起立多数です。よって、認定第12号は原案のとおり認定すべきものと決しました。

○熊高委員長　これより認定第13号を起立により採決いたします。  
本案は、原案のとおり認定することに賛成する諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

起立多数です。よって、認定第13号は原案のとおり認定すべきものと決しました。

○熊高委員長　これより認定第14号を起立により採決いたします。  
本案は、原案のとおり認定することに賛成する諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

起立多数です。よって、認定第14号は原案のとおり認定すべきものと決しました。

○熊高委員長　これより認定第15号を起立により採決いたします。  
本案は、原案のとおり認定することに賛成する諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

起立多数です。よって、認定第15号は原案のとおり認定すべきものと決しました。

○熊高委員長　これより認定第16号を起立により採決いたします。  
本案は、原案のとおり認定することに賛成する諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

起立多数です。よって、認定第16号は原案のとおり認定すべきものと決しました。

○熊高委員長　これより認定第17号を起立により採決いたします。  
本案は、原案のとおり認定することに賛成する諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

起立多数です。よって、認定第17号は原案のとおり認定すべきものと

決しました。

○熊高委員長

以上で、本日の審査日程は全て終了いたしました。  
次回の審査は明日午前10時からこの会場で開会いたします。  
本日はこれにて散会いたします。  
ご苦労様でした。

~~~~~

午前11時52分 散会